

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌切除術中の出血量が長期経過へ及ぼす影響
	研究目的	胃癌に対する手術の際に生じた出血の量が病気のその後の経過（再発の有無）に影響が生じるかを調査します。
	研究対象者	2000年1月から2016年12月までに当院で胃癌に対して手術を受けられた患者様
	研究期間	西暦 2019年3月20日～西暦 2020年12月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科医長 林 勉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科（胃食道）
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし